

江

口

大

家

おおらかな書の世界



大作「気和」 371.7×191.8cm

2022年2月17日(木)~3月21日(月・祝)

休館日 月曜日(3月21日は開館) 開館時間 9:30~17:00
会場 1階 特別展示室・ギャラリー 3階 書道美術常設展示室

観覧料 一般520円(410円)／高校・大学生360円(290円)／小・中学生260円(200円)
()内は20人以上の団体割引料金。小・中・高校生は、土・日・祝日は無料。
高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。

主催 徳島県立文学書道館
後援 徳島県教育委員会 徳島新聞社 四国放送 NHK徳島放送局

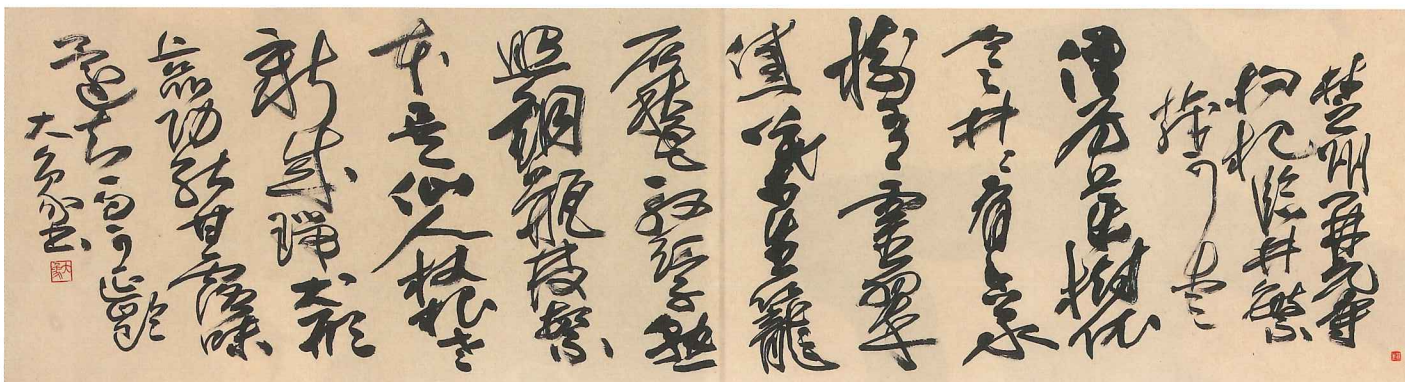
言の葉ミュージアム 徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1
メールアドレス kotonoha@bungakushodo.jp

電話 088-625-7485 FAX 088-625-7540
ホームページ <http://www.bungakushodo.jp>

書家・江口大象は、小坂奇石に師事しましたが、若くして師風を離れ、独自の書を追求しました。日展や現代書道二十人展などに作品を発表し、書道界の第一線で活躍したほか、奇石が創設した書道研究「^{ほくしゃ}璞社」の会長を引き継ぎ、多くの門人も育てました。

おおらかで明快な魅力あふれる作品と、生涯の歩みを紹介します。



劉禹錫詩 37歳 第4回日展出品作 当館蔵



えぐち たいよう

江口 大象 1935～2020年

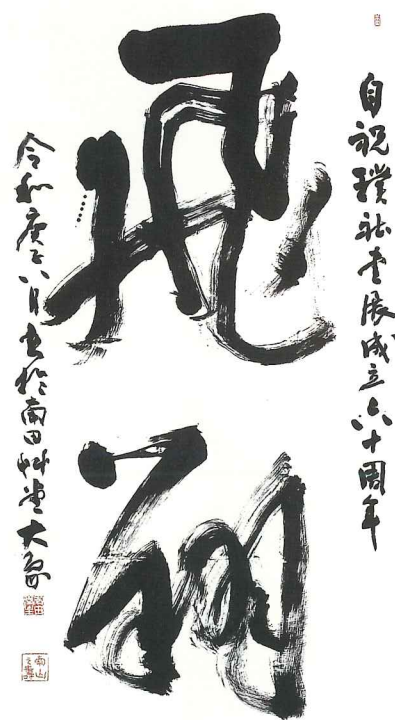
中国・青島生まれ。本名・啓爾。佐賀高校を経て東京学芸大学書道科卒。1953(昭和28)年、小坂奇石に師事。大阪で教員をしながら、67(昭和42)年に奇石が創刊した研究誌「書源」の編集長を務めた。75(昭和50)年、40歳の時に第1回個展を開き、以後2015(平成27)年まで9回開催。1990(平成2)年から奇石の後を継ぎ、「璞社」の2代目会長となった。2010(平成22)年から18(平成30)年まで現代書道二十人展に出品。日展特別会員。



「継往開来」 55歳 平成の書100人展出品作 当館蔵



弟・進氏との合作 伊藤左千夫の歌 制作年不詳 個人蔵



「飛翔」 85歳 第60回記念璞社書展出品作 驥山館蔵

関連イベント

■ 講演会

「江口大象先生の人と書」(申込必要・先着130人)

2月27日(日) 13:30～14:30

講師 山本大悦(書道研究「璞社」会長)

※無料。はがき、FAX、メールのいずれかに「江口大象展講演会」と明記の上、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入し、当館までお申し込みください。当館1階受付でも申し込みます。

■ 展示解説 (申込不要・観覧券必要)

①2月23日(水・祝) ②3月12日(土)

①・②とも11:00～11:40

講師 佐藤美和(当館専門職員)



■ 交通アクセス(JR徳島駅から)

徒歩 約15分

JR徳島駅西側のポッポ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つ目の信号交差点を右折して約300m。徳島中学校東隣。

バス

[徳島市営バス]7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し徒歩で約5分。
[徳島バス]2番乗り場「前川経由」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し徒歩で約5分。

タクシー・自動車 約5分

国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え、4つ目の信号を右折して約300m。当館北側に駐車場があります。(乗用車43台・大型バス2台)